

## 第4期上下水道事業経営委員会（第3回）の主な質疑・意見

### 【意見受付期間】

令和3年3月1日（月）～令和3年3月5日（金）

質 疑	回 答
<b>【令和3年度予算（案）概要】</b>	
<p>A 委員</p> <p>令和3年度の5つの取り組みは改正水道法等に基づいて適切に設定されているものと評価できる。</p> <p>また、自然災害の突発化・多発化、人口減少という現象を重視すべきであり、新型コロナウイルス感染症等の新規リスクへの対応を含めた危機管理体制の強化、広域連携の強化、汚水処理の早期概成に向けた取り組みに注力する必要がある。</p>	<p>上下 水道局</p> <p>上下水道事業は、人口減少等による料金収入の増加が見込めない中、防災、減災、国土強靱化に向けた施設の耐震化、老朽施設の更新や再構築、さらには、近年、脅威が増している台風や集中豪雨など、多様かつ喫緊の課題も山積し、事業環境は厳しさを増している。こうした中でも、公衆衛生と市民の生活を支える上下水道を次世代につなぐため直面する課題を克服し、改正水道法の「水道の基盤強化」に向けて、本市上下水道ビジョンに掲げる「安全」「強靱」「持続」の各事業施策を着実に推進してまいりたい。</p>
<p>A 委員</p> <p>PDCA サイクルでは計画(P)と実行(D)が住民や利用者への説明で強調される傾向があるものの、課題解決のためには評価(C)が欠かせない。加えて、職員がそれらの情報を共有することも必要である。</p> <p>また、市民や企業に上下水道事業やサービスについて、経常的に情報提供、説明を行い、理解を得ることも重要だと思う。</p>	<p>上下 水道局</p> <p>令和3年度には、ビジョンの前期計画(H29～R3)の目標達成度などの進捗状況や各施策の全体評価を行い、改善検討するなかで、後期計画(R4～R8)を見直すこととしている。</p> <p>上下水道事業についての情報提供については、事業の透明性を高め、理解と関心を深めていただくためにも重要と考えており、継続して情報発信に努めてまいりたい。</p>
<p>B 委員</p> <p>○水道事業会計</p> <p>改正水道法では、都道府県は必要に応じて「水道基盤強化計画」の策定ができるとされているが、富山県では同計画策定の予定はあるのか。</p>	<p>上下 水道局</p> <p>富山県厚生部生活衛生課では、『現時点で「水道基盤強化計画」を策定する予定はないが、同計画の基礎となる「水道広域化推進プラン」を令和4年度末までに策定する予定である。同計画の策定については、水道広域化推進プランの内容や県内広域化の進捗状況、市町村からの策定要請等を踏まえて検討していきたい。』とのことであった。</p>

B 委員	○水道事業会計 ドローンを活用した監視体制とは、具体的にどのようなものか。	上下 水道局	<p>構造物上部や水管橋などの目視点検が困難な箇所において、ドローンを活用した施設点検を実施し、適切な維持管理を図る。</p> <p>また、自然災害等で上下水道施設が被災した場合、迅速に被害状況を映像により把握し、早期復旧に繋げるもの。</p>
B 委員	○水道事業会計 広域連携関連事業として、射水市と共同で実施する「水道情報活用システム運用業務委託」とは、具体的にどのようなものか。 また、このほかにも呉西地区における広域連携の取り組みはあるか。	上下 水道局	<p>「水道情報活用システム」とは、水道事業で利用する様々なソフトウェアをクラウド上に構築することで、複数の水道事業者が共同利用できる仕組みである。事業者の枠を超えた横断的なデータの利活用や、複数の事業者の施設の運転管理を一元化することができる。</p> <p>令和3年度に実施する業務委託は、高岡市と射水市が今後共同発注予定の水道施設台帳管理システムに使用するデータを整備するものである。</p> <p>呉西地区においては、「富山県西部6市上下水道事業広域化検討会」を定期的に開催し、広域連携を推進するための情報交換を行っている。これまでに、合同技術研修の開催や緊急時の災害連絡管運用訓練などを実施するなど、呉西地区水道事業のレベルアップに取り組んでいる。</p>
B 委員	○水道事業会計 スマートフォン決済のほかにクレジットカード決済の要望も多いのでは。	上下 水道局	<p>クレジットカード決済については、一部のお客様から問い合わせがあるが、導入に伴うシステム改修や割高な利用手数料など、新たに発生する投資費用を考慮し、導入には至っていない。</p> <p>水道料金等の決済のあり方については、お客様の利便性の向上を図るため、今後も引き続き、調査・検討していきたい。</p>

B 委員	<p>○下水道事業会計 防災体制の強化で耐水化計画が挙げられている。これは、下水処理場などの施設が浸水した場合においても、施設機能を確保することを目的とした計画か。</p>	上下 水道局	<p>ご質問のとおり、耐水化計画は災害時（水害時）における一定の下水道機能の確保を目的とし、策定するものである。</p> <p>令和元年に発生した東日本台風において、下水道施設が浸水により機能停止するなどの被害が発生したことを受け、令和2年度に国土交通省より施設浸水対策の実施が通知されたところである。</p>
	<p>また、水道事業における耐水化計画の策定状況は。</p>	上下 水道局	<p>水道事業では、高岡市上下水道危機管理計画に基づいて施設の浸水防止対策を実施しており、令和2年度には重要施設2カ所（能町ポンプ場・福岡浄水場第2水源）に、浸水を防ぐための止水壁を設置した。</p> <p>令和3年度には、個別マニュアルとして「風水害対策マニュアル」を策定する。</p>
B 委員	<p>○下水道事業会計 令和2年度での「終末処理場ポンプ場等包括的維持管理業務委託」の実施評価について、包括的業務委託によって得られた効果についても含め、説明されたい。</p> <p>また、包括的業務委託の内容について、市民理解を得られるよう情報発信する必要があると思う。</p>	上下 水道局	<p>「終末処理場ポンプ場等包括的維持管理業務委託」については、施設の運転管理、保守点検、水質管理業務に加え、電力や薬品の調達及び小規模修繕など、民間企業が有する技術力・ノウハウを発揮され、概ね当局の要求水準に見合う業務遂行がなされている。また、受託者による防犯・安全管理の面から処理場に監視カメラを設置されるなど評価できる。</p> <p>上下水道局においては、本包括業務委託の実施により、契約・支払い事務などが軽減され、事務の簡素化が図られている。</p> <p>包括的業務委託の内容については、ホームページなどにより情報発信を行っていききたい。</p>
B 委員	<p>○下水道事業会計 「お客様とのコミュニケーションの推進」は重要だと思う。</p> <p>議論の参考のため、市民から寄せられた要望の内容を経営委員会の場で説明されたい。</p>	上下 水道局	<p>市民から寄せられた要望、ご意見等について、経営委員の皆様にご説明してまいりたい。</p>

C 委員	近年の情勢を鑑みると、自然災害に備えた危機管理体制強化への取り組みは重要であると思う。		
C 委員	○下水道事業会計 処理場建設事業及び管渠の更新・耐震化に関する予算額が大きいことから、施設・管渠の老朽化対策や耐震化の状況が望ましい水準に達するまでには、まだまだ多くの時間と投資が必要になると思う。		